

情報共有会合の開催報告

(令和元年度～現在)

令和5年12月5日

国土地理院北海道地方測量部

情報共有会合について

◆ 概要

- 平成24年度に設置され、年に複数回開催。
- 産・学・官の機関や団体などの個人をもって構成。
- 懇談会における議論のフォローアップを確実に図り、実質的な産学官の連携と地理空間情報の活用を進めることを目的とし、意見交換及び情報提供等を行う。

◆ 開催状況(令和元年度～現在まで)

- 令和元年度・・・第1回（ 5月26日：対面）
 第2回（ 7月22日：対面）
 第3回（ 9月30日：対面）
 第4回（ 2月 4日：対面）
- 令和2年度・・・コロナ禍により未開催
- 令和3年度・・・第1回（ 5月31日：WEB）
 第2回（10月 6日：WEB）
 第3回（ 2月25日：WEB）
- 令和4年度・・・第1回（10月18日：WEB）
 第2回（ 3月16日：WEB）
- 令和5年度・・・第1回（ 9月29日：WEB）
 第2回（11月30日：WEB）

参加機関・団体

北海道大学、酪農学園大学、北海道開発局、北海道運輸局、札幌管区气象台、第一管区海上保安本部、北海道地方環境事務所、陸上自衛隊、北海道庁、エネルギー・環境・地質研究所、札幌市、江別市、恵庭市、岩見沢市、石狩市、北広島市、千歳市、日本測量協会北海道支部、北海道測量設計業協会、北海道G空間情報技術研究会、日本写真測量学会北海道支部、建設コンサルタンツ協会北海道支部、北海道産学官研究フォーラム、Digital北海道研究会、スパーチャリストの会、EnVision環境保全事務所、国土地理院北海道地方測量部

第1回

- (1) デジタルトランスフォーメーションのうねりと防災情報部会の取組み
(一社) 北海道産学官研究フォーラム
- (2) 総会・春季特別講演会
日本写真測量学会北海道支部
- (3) 地理院地図の改良点等について
国土地理院北海道地方測量部

第2回

- (1) 海洋情報部保有の情報について
第1管区海上保安本部
- (2) BirdBase リニューアルへの技術的アプローチ
北海道立総合研究機構

第3回

(1) 地理院地図の最新状況

(国土地理院北海道地方測量部)

(2) 平成30年北海道胆振東部地震における地理空間情報の活用

((株)シン技術コンサル)

(3) 米国GIS視察報告とBIM/CIM連携の道内の取組み

(NPO法人Digital北海道研究会・(一社)北海道産学官研究フォーラム産学官CIM・GIS研究会)

第4回

(1) 地図の利用手続の改正について

(国土地理院地理空間情報部)

(2) 第11回地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会報告

(国土地理院北海道地方測量部)

(3) PRISMコンソーシアムの活動とBIM・CIMとGISの連携に向けて

((一社) 北海道産学官研究フォーラム産学官CIM・GIS研究会)

第1回

事前アンケート結果に基づき、本会合の話題について意見交換

第2回

(1)3D都市モデルが実現する未来

ー国土交通省3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化プロジェクトについてー
(国土交通省都市局都市政策課 課長補佐 内山 裕弥様)

(2)3D都市モデルによる都市の情報基盤化と活用

(駒澤大学文学部地理学科准教授 瀬戸 寿一様)

第3回

(1)UTMグリッド入りの英語表記登山地図 ー国内地形図を国際基準にー

(HokkaidoWilds.org代表 トムソン ロバート様)

(2)建設ニュースを地図で発信「e-kensinマップ」

((株)北海道建設新聞社 山本 浩之様)

(3)VRナゾトキ地形 ～スマホで簡単！360度立体地形を楽しもう～

((株)ハッピーアロー 森 順子様)

令和4年10月18日 WEB開催

(1) 第4期地理空間情報活用推進基本計画について

(国土地理院北海道地方測量部)

(2) 全体討論(地理空間情報の活用状況や今後の話題など)

・地理教育・人材育成について

令和4年度から必修となった高校地理総合に、GIS も含まれていることから、先生に対して技術的な内容やデータの取得に関する支援が必要との意見があった。地理の先生の中には、地理以外の分野を専門の方もおり、地図に関する注意点(地図投影法など)の説明が望ましいのではという意見があった。

・新技術(リモートセンシング)

リモートセンシングの小型衛星が打ち上がることで、北海道にどのような波及効果があるのか、専門家を呼んで取り上げてもらいたいという意見があった。

・データの利活用・整備

地理空間情報に関するシステムやサイト等について、利用増加の事例を紹介して欲しいとの意見があり、地理院地図をタイルで提供したことにより外部サイトからの利用が増えた事例を紹介した。

令和5年3月16日 WEB開催

(1) 衛星リモートセンシングを利用した

スマート水産業を実現するシステムの開発及び普及

(北海道大学北極域研究センター研究推進支援教授 齊藤 誠一様)

ICT 技術(衛星リモートセンシング×数値予測モデル、海洋 GIS)の利活用により、ピンポイントの漁場予測やホタテガイ養殖の生産性向上、作業効率向上の重要性について報告いただいた。

(2) 地理空間情報に関する産学官の取組みと

『北海道航空・宇宙研究会』の立ち上げについて

((一社)北海道産学官研究フォーラム 副理事長 藤原 達也様)

北海道産学官研究フォーラムの設立の経緯や各研究会の概要について、報告いただいた。これまで、北海道産学研究フォーラムが培ってきた各研究会や各部会の幅広い知見・コミュニティを活かし、新たな産業分野の産学官における利活用促進のため『北海道航空・宇宙研究会』の設置について報告いただいた。

第1回 令和5年9月29日 WEB開催

(1) デジタルツインによる冬期道路交通マネジメントシステムの技術開発

(北海道大学 大学院工学研究院 教授 萩原 亨様)

リアル(物理)空間にある情報をIoTなどで集め、サイバー(仮想)空間でリアル空間を再現するデジタルツインという技術を用いて、冬期の人やモノの移動にかかる負担軽減、効率化を実現するための技術開発(道路の視界情報、路肩の堆雪状況、都市内の交通状況の収集・活用)についてご報告いただいた。

(2) 「北海道航空・宇宙研究会設立記念シンポジウム」での発表事例

((一社)北海道産学官研究フォーラム 副理事長 藤原 達也様)

2023年8月4日に開催された「北海道航空・宇宙研究会設立記念シンポジウム」での発表事例をご紹介します。官部門の参加者から「シンポジウム内で成層圏プラットフォームや超低軌道衛星や新たなプラットフォームの研究状況などの説明はあったか」という質問があったほか、「今後の宇宙航空分野についてのイベントやシンポジウムの開催予定」について質問があった。

第2回 令和5年11月30日 WEB開催

(1) 高校「地理総合」における地理空間情報およびGISの活用と課題

(北海道大学大学院文学研究院教授 橋本 雄一様)

(2) GISの活用事例

(国土地理院北海道地方測量部)